

モニターレポート(12月報告)

【報告内容①】

河川敷の田んぼの畦に、見慣れない「何か…」を見つけました。河川敷への降り口からゆっくり近づき、双眼鏡をのぞくと「鷺」でした。それも二羽です。さらに近づいてからカメラを準備し、車から降りると、すでに一羽は飛び立っていません。残りの一羽を撮影しようとゆっくり歩いて行くと、残り60mほどでその鷺は飛び立ちましたが、尾羽は真っ白、「オジロワシ」でした。二羽も見ることができるとは思いませんでした。翌日も同じ付近を探しましたが、見つけることはできませんでした。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川の河川敷でオジロワシを発見したとのこと、とても驚いているところです。冬になると、ハクチョウやカモ、カワウなどの野鳥はたくさん見ることができますが、貴重なオジロワシを見ることができ、その写真を撮ることができたのは、大変幸運なことだと思います。

【報告内容②】

12月の阿賀野川の風景は、寂寥を感じる場所もありますが、反面、川漁師の船が浮かぶ風景や水鳥の川面に反映する姿は、癒やしの一時と感じました。

〈事務所からのコメント〉

例年に比べると寒いように感じた12月でした。早い冬の訪れだったように思います。

冬の阿賀野川は、一面雪におおわれてしまい、人氣が全く感じられず、もの寂しい冬景色の一面もありますが、ハクチョウやカモ類の水鳥たちなど、川の中で羽を休めたり、田んぼの落ち穂拾いをしている姿に、のどかな自然の姿を感じます。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

新横雲橋から水ヶ曾根地区を見ました。久しぶりに雪が降り、冬景色はきれいでした。

雪が降ると、いつもの風景と違って、ごみが落ちていたりするのが分かりづらかったです。きらびやかなイルミネーションもきれいですが、静けさに包まれた雪景色も美しかったです。

冬になると、公園に行く機会もなく、子供は公園ではなくスキー場の方がいいようです。

〈事務所からのコメント〉

連日のように、寒波が北陸地方に襲来しているこの頃です。

新横雲橋から水ヶ曾根地区まで見られた中で、雪景色の静寂と美しさを感じられたとのこと、この時期、ハクチョウをはじめ多くの冬鳥を目にすることができます。

平成20年度の調査によれば、通年で確認された112種のうち、冬鳥が35種と3割以上も占めています。冬季にだけ見ることができる鳥もいますので、楽しいものです。

【報告内容④】

早出川の河川敷では、右岸左岸ばらばらに草刈りがしてあるように思いますが、予算などの関係でしょうか。こっちはすごくきれいだけど、一方では草ぼうぼうのように見受けられます。

〈事務所からのコメント〉

早出川の除草についてお問い合わせいただきました。

私ども河川管理者は堤防の除草のみ行っています。目的は、堤防に亀裂等の変状がないかを確認することで、梅雨期と台風期の2回を基本に実施しています。

一方、堤防が道路として利用されている一部区間では、別に道路管理者が路肩部分の除草を行っています。

従来より、各道路管理者には、堤防と路肩の除草の時期をできるだけ揃えるようお願いはしているところですが、引き続き調整に努めて参ります。

※複数のモニター報告を要約してあります。